

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【公表番号】特表 2019-502793 (P2019-502793A)

【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2018-530798 (P2018-530798)

【国際特許分類】

C 0 9 D 125/10 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/63 (2018.01)

【 F I 】

C 0 9 D 125/10

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 133/00

C 0 9 D 7/63

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

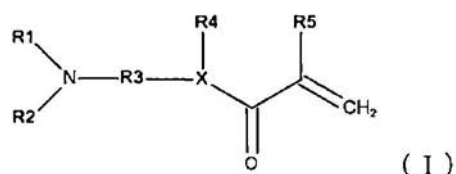
プライマー構成成分を含むプライマー組成物であって、前記プライマー構成成分が、
ゴムと、
アミン官能性（メタ）アクリル系樹脂と、
可塑剤と
を含む、プライマー組成物。

【請求項 2】

前記アミン官能性（メタ）アクリル系樹脂が、アミン官能性（メタ）アクリロイル化合物と、非アミンビニルモノマーとの重合反応生成物であり、

前記アミン官能性（メタ）アクリロイル化合物が、式（I）：

【化 1】

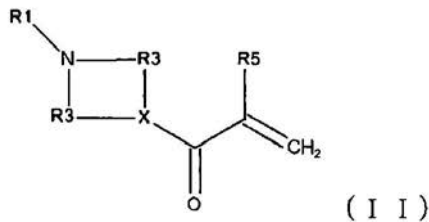


〔式中、R 1 は水素、アルキル、又はアラルキルであり、R 2 はアルキル又はアラルキルであり、あるいは R 1 及び R 2 は、それらが結合している窒素原子と一緒に、5 員環、6 員環、又は 7 員環を形成してもよく、R 3 はアルキレン又はアラルキレンであり、X は窒素又は酸素であり、R 4 は、X が酸素である場合には存在せず、X が窒素である

場合には水素、アルキル、アリール、アルカリール、又はアラルキルであり、R 5 は水素又はメチルである] のものであるか、

前記アミン官能性 (メタ) アクリロイル化合物が、式 (I I) :

【化 2】



[式中、R 1 は水素、アルキル、又はアラルキルであり、各 R 3 は、独立して、アルキレン又はアラルキレンであり、X は窒素であり、R 5 は水素又はメチルである] のものであるか、あるいはそれらの組み合わせである、請求項 1 に記載のプライマー組成物。

【請求項 3】

前記アミン官能性 (メタ) アクリル系樹脂が、12 以上の算出 T g を有する、請求項 1 又は 2 に記載のプライマー組成物。

【請求項 4】

前記非アミンビニルモノマーが、(メタ) アクリル酸、(メタ) アクリル酸エステル、(メタ) アクリルアミド、ビニルエステル、スチレン、(メタ) アクリロニトリル、及びこれらの混合物からなる群から選択される、請求項 2 に記載のプライマー組成物。

【請求項 5】

前記非アミンビニルモノマーが、C 1 ~ C 18 アルコールの (メタ) アクリル酸エステルである、請求項 2 又は 4 に記載のプライマー組成物。

【請求項 6】

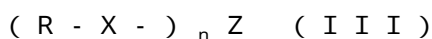
前記ゴムが、スチレンとアルケンのブロックコポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のプライマー組成物。

【請求項 7】

前記ゴムが、無水マレイン酸でグラフト化された、スチレン - エチレン / ブチレン - スチレンブロックコポリマーを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のプライマー組成物。

【請求項 8】

前記可塑剤が、式 I I I :



[式中、

各 R は、水素、C 1 ~ C 14 アルキル、アリール、アルカリール、又はアラルキルであってもよく、

それぞれ、任意選択で、酸素、窒素、カルボニル、カルボキシル、又はカルバミドが介在してもよく、

各 X は、酸素、窒素、カルボニル、カルボキシル、又はカルバミドであってもよく、

Z は、水素、C 1 ~ C 14 アルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、C 1 ~ C 14 アルキレン、アリーレン、アルカリーレン、アラルキレンであってもよく、それぞれ、任意選択で、酸素、窒素、カルボニル、カルボキシル、又はカルバミドが介在してもよく、

n は、1 ~ 5 の整数である] のものである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のプライマー組成物。

【請求項 9】

n が、1 ~ 4 の整数である、請求項 8 に記載のプライマー組成物。

【請求項 10】

前記可塑剤が、以下：安息香酸エステル、ミリスチン酸エステル、クエン酸エステル、酢酸エステル、コハク酸エステル、グルタル酸エステル、アジピン酸エステル、セバシン酸エステル、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも 1 つから選択される、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のプライマー組成物。